

KEEP 20 TEETH TILL YOUR 80



ハチマルニイマル 8020運動

80歳で20本以上の自分の歯を保ちましょう

廣歯連盟ニュース

HIROSHIRENMEI NEWS

平成25年10月30日

第157号

発行所 広島県歯科医師連盟
広島市中区富士見町11-6
エソール広島820 TEL (082) 241-8020
ホームページ http://hpdpf.jp
編集兼発行人 相田博昭

第120回日歯連盟臨時評議員会

平成25年9月20日(金)午前10時より、日本歯科医師会館1階大会議室に於いて、第120回臨時評議員会が開催され、大久保満男日本歯科医師会会長ほか、多数の国会議員を来賓に迎え、石井みどり参議院議員、西村まさみ参議院議員が国会報告を行い、議事では議案がすべて可決され、協議では熱心な討議がなされた。

平成25年9月20日(金)午前10時より、日本歯科医師会館1階大会議室に於いて、第120回臨時評議員会が開催された。

右田信行副会長の開会の辞で始まり、仮議長の選出で石黒慶一評議員(山形県)を仮議長に選出し、日程を変更して第1号議案の「議長及び副議長の選出」を議決し寺尾隆治評議員(佐賀県)が選出され、議長指名により副議長に奥山文雄評議員(群馬県)が選出された。



挨拶する高木幹正日本歯科医師連盟会長

議長録署名人名指名では、寺本武史評議員(京都府)樋口壽一郎評議員(鳥取県)が指名された後、高木幹正日本歯科医師連盟会長より「本日は、日本歯科医師会創立110周年記念に併せて日本歯科医師連盟の役員新任パーティーを開催させていただきます。頂いたところ、大変お忙しいところ、先生方には多数ご出席を頂き本当にありがとうございました。今日ご出席の国会議員の先生方をはじめ

め多数の国会議員の先生方にもご出席頂き成功裏に終わらせて頂きましたこと厚く感謝を申し上げます。安倍晋三総理大臣にもご出席を賜り2020年の東京オリンピック招致についてのお話がありました。今、日本はデフレからの脱却、景気回復を第一優先としてアベノミクス政策がとられ、東京オリンピック招致とアベノミクス政策がうまく合致し、早期に東北が復興し地方への経済効果の波及を期待するところであり

また、直近の診療報酬改正、歯科界においての問題に対して日本歯科医師会として今後今以上に勉強し、結果を出せるように努力して参りたいと思っております。また、連盟活動に対して実態が見えないと言われることもありますが、非常にデリケートな部分もありませんので先生方のご理解を得ながら、活動内容について会員の先生方に周知徹底させて頂き、一丸となって今後歯科界の為に努力して参りたいと思っております。今更以上にご指導賜りますようお願い申し上げます」と挨拶があった。

執行部役員紹介の後、来賓挨拶で大久保満男日本歯科医師会会長より「本日は、第120回臨時評議員会を盛大に開催されましたこと日本歯科医師会を代表して心からお喜び申し上げます。また、高木会長はじめ本日出席されておられる先生方には、平素より都道府県の連盟活動を通して日本歯科医師会の活動を支

師連盟会長より「本日は第120回臨時評議員会に全国各地から先生方に集まって頂きましてありがとうございます。平素は連盟活動に大変ご理解ご協力を賜りお礼を申し上げます。本日未明の東北地方から関東地方にかけての地震において被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、公私共にお忙しいところ、来賓としてご臨席を賜っております大久保満男日本歯科医師会会長並びに歯科系国会議員の先生方には、日頃連盟活動に対してご指導を賜り厚くお礼を申し上げます。

もう一つは、我々の職域代表である石井みどり参議院議員の2度目の挑戦であった参議院選挙であります。大変厳しい戦いを強いられました。私といたしましては、歯科界の存亡を賭けた戦いであるといった危機感と、いい結果を出して頂けるといふ期待感の2つを抱いた戦いでありました。先生方や関係者の皆様の絶大なご支援を賜り高位当選ということで参議院に再度送り出させて頂いた事は感謝のひと言に尽きると思っております。本当にありがとうございます。

さらに、石井みどり参議院議員が選挙中に決意表明や公約の中でいろいろな事を主張されてこられたが、高齢者の自己負担が1割から2割になる事を反対する事があります。政権与党としては推進法に沿った骨子案には賛成するが中身についてはこれから議論の余地があるとの検討会等も立ち上がっている状況です。我々としては、随分前から負担増に対して医科よりも歯科が大変影響を受け受診減に繋がり、また歯科においては70歳というのはターニングポイント等であるとして到底容認できないと主張し続けて参りました。絶対にこの主張は続けるべきであります。そういった事を主張しながら、今回の選挙を戦った中で、参議院選挙において石井みどり参議院議員には素晴らしい結果を出して頂き

貴職におかれましては、平素より国民医療の確保のために、ご尽力を賜りますことに対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。さて、このたび、70歳から74歳までの自己負担1割を本則2割に戻すことが決定されつつあります。本件は、歯科医療から見た問題点が多々あり、それについての意見と要望を以下に記しますので、ご一読賜りたくお願い申し上げます。我が国は国難ともいえる超高齢社会を迎え、介護が必要な高齢者が年々増加しております。これは、平均寿命と健康寿命に男女平均して十年前後の開きが出てくる原因であることは言うまでもありません。その意味で、今回、安倍総理が成長戦略の柱に健康寿命の延伸を掲げたことに對し、日本歯科医師会は高く評価をいたします。われわれは、この重要な問題に早くから着目し、この課題を乗り越えるべく様々な政策を立案し実施してまいりました。

このように、われわれの8020運動が成果を上げつつある中で、70歳という年齢は、歯科的観点から、健康寿命の延伸に極めて大きく影響する時期であり、2割の本則に戻すことで受診抑制を招くことがあれば、大切な健康寿命の延伸に影響が出ることをわれわれは強く危惧しております。さらに、今、歯科医療は、要介護者の誤嚥性肺炎の予防やがん患者の予後の回復等に、大きな貢献をしております。その意味からも、本則に戻すことの影響を考慮すべきだと考えます。

以上の視点に立ち、日本歯科医師会は、70〜74歳の窓口負担を1割から本則2割に戻すことに対して、高齢者に受診控えを惹起させ、健康寿命の延伸の妨げとなることから、以下のことを要望いたします。

- 一、本則に従った2割負担への移行について、可能な限り「窓口負担1割」の特例措置を延長し、その間に健康寿命の延伸と健康確保の十分な対策を実施することを要望いたします。
- 二、もし本則に戻すことが避けられないのであれば、低所得者への対策等に万全を期し所得による健康格差を作らないこと、及び60歳または65歳の歯科検診の実施等、健康寿命延伸に資する方策の速やかな体制の構築を強く要望いたします。
- 三、われわれは、従来より3割負担でさえも社会保障の限度を超えていると主張してきました。そして、本則への移行実施の時点で、もはやこれ以上の自己負担という方針はあり得ないことを認識し、今後の政策を実施していただくことを要望いたします。

要望書

厚生労働大臣 田村 憲久 様

公益社団法人 日本歯科医師会
会長 大久保 満 男
日本歯科医師連盟
会長 高木 幹 正
以上

平成25年9月



挨拶する大久保満男日本歯科医師会会長

よりも真つ先に理解してあげるのが我々仲間だと思っております。石井みどり参議院議員に動きやすい環境を作らなければならないと同時に、歯科の問題に関しては党派を超えてご出席の国会議員の先生方にはしつかりとご支援を賜りたいと思っております。

院議員、新原秀人衆議院議員、関口昌一参議院議員、島村大参議院議員より挨拶があった。次に国会報告では、石井みどり参議院議員より「7月21日に執行された第23回参議院議員通常選挙におきましては、全国の先生方に先頭に立って頂いて、あの暑い中を一緒に戦って頂きまして、お蔭様をもちまして29万4千148票という大きな国民のご負託を頂けたことが出来ました。心から厚く御礼を申し上げます。また、この数値がこの両肩にずしりと重くのしかかっており、国民のご負託と共に全国の先生方のご期待の大きさを痛感しております。

では厚生労働委員長というのには公正・公平で、中立な立場で会議の運営をしなければならぬことになっております。これは国会法で決められております。そして委員会の会議の開催を決定するという大きな力を持つております。与党の立場で今回運営となります。厚生労働委員会では外交行為ではありませんので条約は扱いませんが、国会へ提出された後の運営でございませぬ。その前の段階で私は職域代表であり全国の先生方の代表であります。全国の先生方の主張を代弁し、それが形となって表れる為の働きをしなければならぬと思っております。

第4条に基づきまして8月21日にその骨子が閣議決定致しました。その中に身につきましては、とても容認出来ないものも含まれております。例えば70〜74歳の高齢者の方々の自己負担、1割の特例を2割の本則に戻すというごことを謳っております。又、所得の高い国保組合への補助の見直しも謳っております。一つ一つの事柄を私は国民医療を守る立場でしっかりと主張していきたいと思っております。

先に出てくるプログラム法、これは逐条的ではなく一語一句精査をして党内で充分な議論を尽くしていきたいと思っております。そして私の選挙公約の中で正に一丁目一番地でお約束させて頂いた指導監督、行政処分の問題であります。これはやはり行政の裁量が年々拡大し、現場の臨床の実態とかけ離れた極めて不当なそして過度な指導が行われております。これは医学的根拠や法的根拠を基にして法の改正、そして現場の運用を改善させるといふ所から始めて是非取り組んで参りたいと思っております。それに付けましてエネルギーの源となりまして、先生方から大きくお支え戴いているという実感と自信でございます。6年間燃え尽きるつもりで全力でこれまで以上に働いて参ります。どうぞこれからも以上の大きなご支援と力強いご指導を心よりお願い申し上げます」と報告があった。

先に西村まさみ参議院議員より、大変お世話になっております。参議院のODAの調査派遣の為に東南アジアのインドネシア、フィリピンに行つて昨晩帰国しました。ODAです。高速度道路、鉄道、港湾などを見て廻るのが主な目的ではありますが、私が行くからには病院、学校、保健指導の場を見て、日本が今までもどんな援助をしてきたのか見て参りました。両国とも大変経済発展をしていますが、その反面、高層ビルの谷間に貧困層の人々が生活をしていて、それを見て社会保障の大切さを他国に行き改めて思いました。この1年間は、環境委員会に行つておりましたが、この臨時国会から、連盟の先生方のお蔭で厚生労働委員会に内定を頂きました。次期診療報酬改定に於いても先生方の診療に見合う引上げとなるよう、さらに歯科の改定率が医科に比べて低く抑えられている為、医科よりも高くなるよう厚生労働委員会へ質問していきたいと思っております。そして石井みどり先生を先頭に歯科関連の8名の国会議員が誕生した訳であります。党派を超えて、同じ方向に向かいしつかり働いていくことをお約束して、ご挨拶とさせて頂きたいと思っております。ご報告があった。

前評議員議長、副議長、前役員へ感謝状の贈呈があり、代表して前議長の前原武仁氏と前役員の前澤隆氏に高木会長から記念品の贈呈が行われた。第3号議案 顧問の委嘱 第4号議案 役員報酬算定委員会委員の委嘱 第5号議案 選挙管理委員会委員の委嘱 協議では参議院選挙の結果についても活発な意見、要望が多く出され、それに対して執行部から丁寧な回答があり、藤原元幸日本歯科医師連盟副会長の閉会の辞で閉会となった。

石井みどり先生が高位で再選され、厚生労働委員長に就任。年末に差し掛かって、歯科界・広島県にとつてのビッグな朗報。アベノミクスとの相乗効果で期待する年末になった。(K)



第120回日歯連盟臨時評議員会(9/20)

えて頂いておりますこと心から改めてお礼申し上げます。創立110周年記念に併せて日本歯科医師連盟の役員新任パーティーには、政府より安倍晋三総理大臣、石破茂幹事長をはじめ様々な要職をなされている多数の国会議員の先生方に「ご出席頂き、総勢800人の盛大な祝賀会になりました。ひとえに都道府県連盟の先生方が、地元の国会議員の先生方をお支え頂き、日常の連盟活動のお蔭で」と思っております。本当にありがたうございました。また大変厳しい状況に置かれている中で参議院選挙において、石井みどり参議院議員は見事な成績で再選を果たされた事も都道府県連盟の先生方のお蔭であると思っております。

今、日本においても大きな課題は、高齢化の問題です。高齢者の増加に伴う健康をどう守るかということで、FDIの総会において「日本の高齢化の現状と歯科医療はどうするか」という講演をして参りました。終了後、大変な反響があり世界が日本の歯科界を注目しております。日本歯科医師会としては、世界のトップランナーとして歯科界に課せられた健康寿命を延ばすこと、QOLを維持・改善させる、最後まで自分の口で食べられるようにと考え続けなければいけません。また、関わりなればば歯科の高齢化社会における社会貢献はあり得ないと思っております。65歳以上の健康な人も含めて国民の為の歯科医療をどう支えるかという事に歯科界の命運が懸かっています。これからの会員の先生方のお力をお借りし、職責を全うしたいと考えております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます」と挨拶があった。

先程、関口昌一参議院議員のご挨拶の中にもございまして、お蔭様をもちまして政務官も副大臣も経験していない私が大久保満男日本歯科医師会会長のご挨拶で大変温かいご配慮あるお言葉を賜りました。立場によ

選挙の期間中自分でも驚くべき、大変難しい課題を選挙公約として訴えをさせて頂きました。しかし、敢えて国民の方々へのお約束として、公約として申し述べました。6年間の任期の間でどこまで達成できるかが分かります。大久保満男日本歯科医師会会長のご挨拶で大変温かいご配慮あるお言葉を賜りました。立場によ

し得なかつたその目標に向かつて一歩でも二歩でも前へ歩んで参りたいと思っております。国会報告でありませんが、昨年の8月に成立しております社会保険改革推進法8法によって、本年の8月までに法制上の措置を採るといふ改革を

聞いておりますが、真つ

第3号議案 顧問の委嘱 第4号議案 役員報酬算定委員会委員の委嘱 第5号議案 選挙管理委員会委員の委嘱

協議では参議院選挙の結果についても活発な意見、要望が多く出され、それに対して執行部から丁寧な回答があり、藤原元幸日本歯科医師連盟副会長の閉会の辞で閉会となった。

この度の参議院選挙で高位当選し議員活動に弾みをつけた石井みどり先生が、デフレ脱却を狙うアベノミクスの政策に、歯科界の諸問題を上手く同調させて行けることを期待しています。又歯科関連の国会議員が8名となり、党派を超えた働きかけによる相乗効果を期待します。(T)

日歯連盟、日歯は厚生労働大臣を訪ね、70〜74歳の窓口負担1割の特措延長の要望書を提出した。安倍首相は成長戦略の柱に健康寿命の延伸を掲げている。健康寿命の尽きる72歳と歯の喪失する時期は一致する。つまり2割に戻すことによる受診抑制は健康寿命延伸の妨げとなる。実に理に適っている。是非この要望を聞き入れて頂きたい。(志)